



Shooting Experience at Hawaii Mark One

ハワイ マークワンで 射撃体験

長い間、ラスベガスでデザートシューティングツアーを主宰していたキャプテン中井さんが2017年10月にラスベガスでのツアーを終了させ、ハワイのマークワンツアーに注力することになったことは本誌3月号で知りました。トイガン関係の撮影を担当するようになって以来、ラスベガスに行く機会があれば、

ぜひデザートシューティングツアーに参加したいとは思っていましたが、結局それは叶いませんでした。しかし、今回、ハワイに行くことになり、これはぜひマークワンツアー



▲キャプテン中井さんがトヨタのミニバンでホテルに迎えに来てくれます。

に参加しなくては！と思い、人生初の実銃射撃が実現しました。

キャプテン中井さんにお会いするのは、もちろん今回が初めてです。ホノルルのホテルに迎えに来てくれ

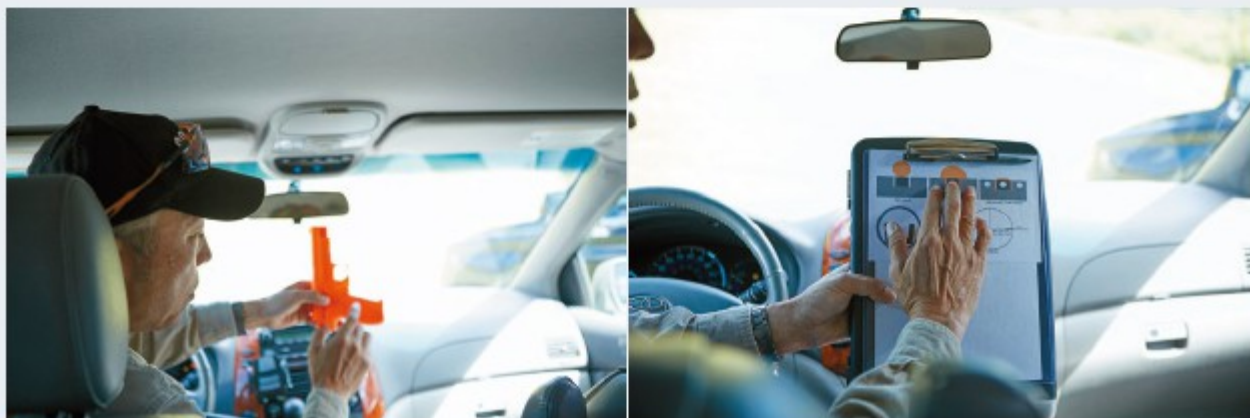
広中 惟磨

アームズマガジン表紙などの撮影を担当しているスタジオセットの門を叩いて早6年、同社でカメラマンとして仕事をしています。師匠であり、同スタジオの代表である須田亮カメラマンは公安委員会の許可を得て実銃(ライフル)を所持し、海外でも実射経験が豊富ですが、残念ながら自分にはそのような経験はありません。しかし仕事でサバイバルゲームの撮影を担当することもあり、実銃射撃にも興味を覚えるようになりました。そんな中、親族がハワイで拳銃を上げることになり、良い機会なのでマークワンツアーに参加することにしました。松尾副編集長から、せっかくなので、ぜひツアーの紹介記事を書いてほしいとのリクエストもあり、素人ながら、マークワンツアー参加記を皆様にお届けします。

たキャプテン中井さんは、メールの文面通りの気さくな方でした。ご挨拶後、さっそく中井さんの車に乗り込みます。

オアフ島唯一の公共射撃場であるココヘッドシューティングコンプレックスは、HI、そしてカラニアナオレ・ハイウェイを走ればホノルルから約20分という距離で、有名な観光名所であるハナウマベイのすぐ近くに 있습니다。

当時は日曜日で射撃場が混雑していたため、車を降りる前に車内でダミーガンを用いた安全講習を受講しました。空いていればレンジでこの



▲レンジが混んでいるので、常に銃声が響き渡り、話し声が聞こえなくなってしまうため、車内で安全講習です。



▲ミニバンには当日使用する銃と弾薬、そしてターゲットに積まれています。



▲ツアーの参加者も一緒にターゲットスタンドを運びます。



▲ここがココヘッドシューティングコンプレックス、バックストップの山はココ・クレーターです。



▲レンジでもキャプテン中井さんの熱血安全講習は続きます。右の写真は両腕で二等辺三角形を作って撃つ体勢(アイソサリーズ・スタンス)を見せてくれています。

講習を行なうそうですが、ひっきりなしに銃声が響き、説明する声がよく聞こえない場合があるからです。

私は全くの素人なので、銃の握り方といった初歩的な部分からしか

り教えて貰いました。サイトの使い方ももちろん、射撃時のスタンスについても、身体を正面に向けて重心はやや落とし、上から見たら腕が二等辺三角形になるように伸ばすと良

いということなど、おそらく基本的なことなのでしょうが、キッチリと教わったのは今回が初めてです。そして何より一番大事なことは、*銃口を標的以外には絶対に向けないこ



▲レンジマスターのCease Fireの合図を出すと、全員が銃を置きます。この間にシューティングライン(射座)から前に出て標的の設置、交換を行ないます。この時、シューティングラインに残った人は絶対に銃に触れてはいけません。事故防止の基本です。設置する標的は、ペーパーターゲットにスチールプレート、そしてゴルフボール、さらにコインです。



▲ライフルはこういったテーブルから依託射撃します。銃はレミントンM24 7.62×51mmです。



▲こちらはHK417 7.62×51mm、正確には市販型のMR308 A3です。なんとスコープはMarchでした。



◀これはSCAR H(7.62mm)ですが、SCAR L(5.56mm)もあります。



▲手前がM4カービン、スコープはSightmarkです。奥がHK416(正確にはMR223 A3)でスコープはTrijicon ACOGを載せています。



▲スプリングフィールドアーモリーの1911で、これは.45ACPですが、9mmモデルも用意されています。



▲中井さんは道格な指導で、参加者は射撃の楽しさを実感できます。同時に、銃を撃つことには大きな責任が伴い、安全な銃の扱いが重要であることも学べます。

と、“指は撃つ直前までトリガーガード内には入れない！”という事ですね。これをしっかり守れば、事故の大半は防げるそうです。また1回のツアー参加者は中井さんの方針で4名が上限となっています。日常的に射撃をやっている人達が相手ではなく、全くの初心者や射撃経験が少ない人達を相手にするわけですから、中井さんが常に見守る必要があります。人数が多いとその目が行き届かない場合も出てきますので、安全を最優先にするためにこの人数となっています。

安全講習が終われば、いよいよ実射です。マークワンツアーには初心者から上級者まで幅広く楽しめる様々なコースがあります。しかし、今回私は須田カメラマンの勧めもあって、事前に50種類以上もあるマークワンツアー保有銃の中から、グロック19、

M1911A1、M4カービン、M24、HK416、HK417を希望して射撃しました。このチョイスは須田カメラマンによるものです。

個々の銃についてのインプレッションは素人の私がここに書いても



あまり参考にならないでしょう。読者の皆さんのほうがずっと詳しいはずですから。総じて言えることは、トリガーを引いた瞬間に起こる銃声、そして反動は衝撃的でした。日本で楽しめるガスブローバックや電

動ガンからイメージしていた感覚とは全く別モノで、銃を撃っているという実感は凄かったです!! 同時に緊張感も大きく、トリガーを引くことに伴う責任の大きさから身が引き締まりました。しかし、それだからこそ、楽しさも数十倍です。トイガンとは別次元の貴重な体験ができたと思っています。

初心者ゆえフリンチング等が出て、最初は全く当たらなかったのですが、中井さんの熱血かつユーモアあふれる指導のおかげでだんだんターゲットに当たり始めて、真ん中近くに当たるようになったときは、喜びを超えて感動モノでした!!

あれから数カ月が経過しましたが、射撃したときの感覚が残っていて、忘れられません。早くまたハワイに行って撃ちたいです!

ハワイ マークワン Mark1 SERVICE, LLC.

<http://markonehawaii.com/>

ご予約/お問い合わせはメール、フォームでのみ

休業日 月曜、火曜(祝日の場合を除く)

コース例

スナイパーコース ルガー 10/22 .22LR 20発、CZスコビーオンEvo3 9mm 15発、AR-15A4 5.56mm 10発、M4 5.56mm 10発、RAS 47 7.62mm 10発 \$219.00+Tax.

SEALSコース Glock 17 9mm 25発、SIG Mk25 9mm 25発、M1911A1 .45ACP 25発、M4 5.56mm 20発、HK416 5.56mm 20発、Mk12 Mod.0 SPR 5.56mm 20発、SCAR H 7.62mm 10発、M24 7.62mm 5発 \$459.00+Tax

その他、レンタル銃多数 コースでなく、アラカルトでの選択も可能

